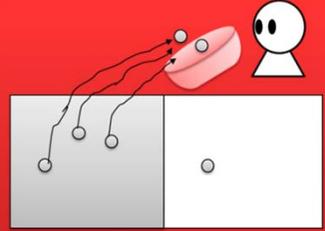


**A1**

発散に関する根底ルール

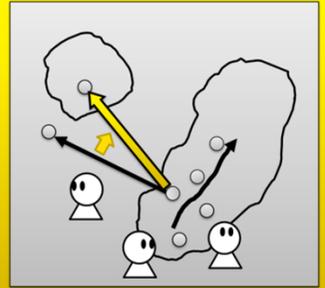
1

判断を先に延ばす  
Defer Judgment



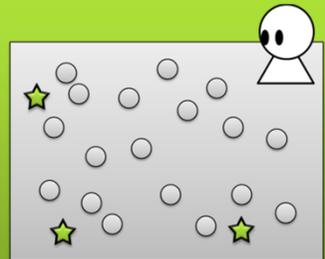
2

未成熟な案を育成する  
Encourage Wild Ideas



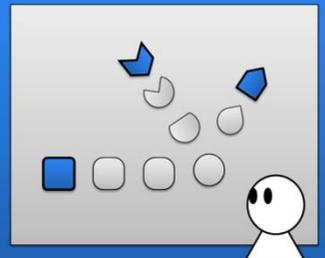
3

量を求める  
Go for Quantity



4

既出の案を発展させる  
Build on the Ideas of Others



**A2**

# 収束に関する根底ルール

出典：『創造的問題解決』

# 収束に関する根底ルール

出典：『創造的問題解決』

＜＜「発散に関する根底ルール」（≒Brainstormingのルール）と「収束に関する根底ルール」（これは5つある）が興味深い。ある意味、ブレストのルールと対を成すルール＞＞

収束は判断と意思決定を含む。判断は創造性のカギとなる。そして繊細なものである。賢い判断者は、後に堅固で輝かしいアイデアになる柔なアイデアを取り逃がすのを避けるために、次の根底ルールを注意深く選び、それに固執する。最初は発散させて、多くの選択肢ということを忘れるな。

## 収束1「肯定的であれ」

その何が優れているのかを考える。欲していない部分を探すのではなく、欲している要素を探す。



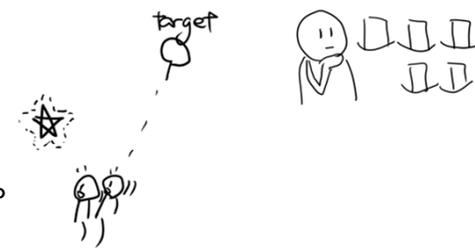
## 収束2「配慮せよ」

粗い判断を避ける。偏見や先入観を一度外して、全ての選択肢を公平にみる。



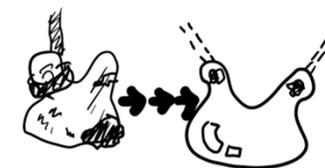
## 収束3「目標をチェックせよ」

正しい方向には進んでいかない“きらめく”アイデアに注意が必要。  
多くの優れたアイデアを目にするときには、当初の目標をガイドにして進む。



## 収束4「アイデアを改良せよ」

全てのアイデアが解決として有効に働くわけではない。  
可能性のあるアイデアもブラッシュアップが必要。アイデアの改良に時間を費やすべし。



## 収束5「目新しさを考慮せよ」

見えにくい可能性を信じる胆力をもつ。独自の考えをすぐに捨てる無かれ。  
削ったり、くみ上げたりして、再利用する方法を考える。

